

令和6年度第1回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和6年4月23日（火） 午後3時30分から午後5時15分まで
会 場 伊豆市役所中伊豆支所 教育委員会室
出席者 佐藤雅彦委員、西尾真澄委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員
鈴木洋一教育長
委員及び傍聴人以外の出席者
教育委員会教育部
部長 小塚 剛、学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、
社会教育課長 鈴木利明、学校教育課主幹 小澤真紀、
学校教育課主査 駒坂たえ子

1 開 会 （鈴木教育長）

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

3月29日	伊豆市学校教職員離任式、伊豆市職員離任式
31日	わさびジッターセンタープレオープン
4月1日	伊豆市辞令交付式、初任者辞令交付式、伊豆市職員着任式、教職員着任式
2日	修善寺、中伊豆、天城中学校訪問
5日	市内中学校・義務教育学校始業式
7日	伊豆市消防団（入退団式）
8日	市内小学校始業式、市内小・中・義学校入学式
10日	県市町教育委員会教育長会（静岡）、田方地区教育委員情報交換会
13日	市文化協会理事会総会
15日	市内校長会①
16日	静東管内市町教育長会
18日	全国学力学習状況調査、教員研修協議会講師説明会
21日	伊豆市長選挙
22日	静岡県都市教育長会（沼津）
23日	4月定例教育委員会

(2) 市内小中学校の様子について

生徒指導に関すること

問題行動

・今まで学校や「いごち」へ足を運べなかった子どもたちが、新学期が始まって頑張って通っている。学校でも引き続きサポートをする。

不登校

・4月に入って学校に行けるようになった子がいる一方で、中学2年生の不登校が多く、学年の中で不登校が連鎖している様子が見受けられる。

教職員に関する事

・怪我や治療で定期的な通院をしている教員や支援員がいるが、学校としては滞りなく回っている。

その他

・紙媒体の学級だよりで、月末に月予定と学校での様子等を出していたが、5月連休明けからは週予定を子どもたちが使っているタブレット端末で確認をする。そのため東小学校ではタブレットを毎日持ち帰り、タブレットを使用した宿題を出すことも検討している。

・学校DXの一環として、お便りをメール配信システム「すぐーる」に添付して配信するペーパーレス化の取り組みを開始している。

・現在、家庭訪問を実施している。

・部活動指導員を配置した。制度的にも不十分な部分もあるが問題を少しずつ解決しながら、より良い制度にしていく。

・各学校で閉校に向けた動きが進んでいる。中伊豆中と天城中の器楽部が合同でコンクールに参加を予定している。

・学校生活や行事の写真は、現在、各学校でお願いしている業者が違っている。そのため、今年から行事や場面ごとに依頼する業者を変えている。

教育委員：子供たちが順調に新年度を迎えられているようで安心した。様子を注視していきたい。

教育長：年度初めは進級し、子どもたちも気持ちをリセットできる機会になる。特に中学3年生は進路を本格的に意識して頑張りに出す時期になる。連休を過ぎても頑張りを維持出来るように支援をしていく。

教育委員：これからの部活の在り方がいろいろ問われる中で、部活動指導員に活躍してもらうことによって、先生方の負担も少しは減るのではないかと感じた。結果はともあれ健康のために部活を通して運動に取り組むのは良いことである。

教育委員：教職員に関する事の中で、長距離通勤をする先生がいるということだが、教職員住宅が無くなったことと関係はないのか。

統括監：比較的近い場所に住む予定だと聞いていたが、遠方に住んでいる。一時的かどうかはわからない。

教育委員：本人は負担を感じているのか。

統括監：本人に直接は聞いていないが、片道一時間は負担だとは思う。

教育委員：仕事が終わって疲れているときにその距離を帰ることは、事故が心配である。

教育長：自分が気を付けていても、事故に遭うことがあるため、事故防止には十分に努める必要がある。

教育委員：クラス担任を持ちながら、他の中学も兼務していると聞いて大変そうだと感じた。そのクラスには副担任はいるのか。

統括監：学年主任の先生にサポートしてもらうことは可能だが、小規模の学校では副担任をつけることは難しい。この先生は、担当の授業時間数としては少ないので、そのあたりをうまく利用して、他の学校に1日半行って担当授業を全て終わらせて、残りの3日半はもう1つの学校で担任業務を行っている。若い教員なので色々と吸収しながら頑張っているようだ。

教育長：この先生の担当教科の場合、週に1回の授業で1年生が年間45時間、2・3年生が年間35時間行っている。5クラスであれば週2日くらい行けば授業を終わらせることができる。

教育委員：学校からの手紙のデジタル化はもっと進んでほしいと感じたが、地区回覧の学校の様子が書かれたお便りは市民としては毎回楽しみにしているので残してほしい。

教育長：お年寄りにはホームページで情報を閲覧するのはなかなか難しいので、印刷して地区回覧で引き続き見ていただく。せっかく1人1台端末を持っているので、連絡ツールとしても、授業でも有効活用してもらいたい。

(3) 今後の予定

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 4月24日 | 保護司会総会、区長会（修善寺） |
| 25日 | 文化財保護審議委員会、田方地区学校保健会理事会、区長会（中伊豆） |
| 26日 | 伊豆市職員互助会理事会、区長会（天城） |
| 27日 | 静岡県子ども会連合会東部地区会 |
| 28日 | 伊豆市ウォークラリー大会 |
| 30日 | 区長会（土肥） |
| 4月8日 | 市内園長・校長会、市子ども会育成連合会総会 |
| 10日 | 伊豆市交流協会総会 |
| 13日 | 教育委員任命式 |
| 14日 | 人事管理訪問（中伊豆小、熊坂小）、伊豆中学校開校準備委員会 |
| 15日 | 人事管理訪問（天城中） |

- 17日 人事管理訪問（天城小）
- 21日 新中学校 ICT 機器関係プロポーザル
- 22日 田方地区退職校長会
- 28日 6月議会（初日）、5月定例教育委員会
- 29日 田方地区教育研修協議会委員会、田方地区教育長会
- 31日 新中学校什器・備品関係プロポーザル

次回教育委員会予定 5/28 18:30

次々回教育委員会予定 6/26、6/27（夜）

4 議事

議案第3号 伊豆市教育委員会の会議録作成職員の指名について

<学校教育課長より>

伊豆市教育委員会会議規則において、教育委員会における会議の内容については会議録を残すこととされており、教育委員会事務局職員、ここでいうと学校教育課の職員の中から指名により作成させることとなっている。このため、会議録作成職員の任命を、令和6年度最初の定例会である今回、議案として上程する。作成職員については学校教育課の担当2名を提案する。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第4号 伊豆中学校開校準備委員会委員の解嘱及び委嘱について

<学校教育課長より>

伊豆市修善寺・中伊豆・天城地区新中学校開校準備委員会は先月の要綱改正により、名称を伊豆中学校開校準備委員会に改めた。

新年度となり、この名称での活動が始まるにあたり、各学校より上がってきたあて職役員を中心とした委員の推薦があったため、解職及び委嘱について議題とする。推薦された委員の皆様方に校歌や通学をはじめ、開校の準備にかかる案件のご審議をお願いする予定である。任期は令和6年5月14日～令和7年3月31日までとなる。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第5号 令和6年度伊豆市公共施設予約システム導入業務委託についての公募型簡易プロポーザルに係る参加希望者の募集の公告について

<社会教育課長より>

オンライン予約やキャッシュレス決済などに対応した公共施設予約システムを導入するため、十分な実務経験を有した事業者をプロポーザル方式により広く募集するための手続き開始の公告を行うものである。審査員については令和6年1月の定例教育委員会にて、伊豆市公共施設予約システム導入業務プロポーザル審査委員会設置要綱を上程し、承認されている。

教 育 長：システム導入のメリットは何か。

社会教育課長：導入すると、従来行っていた社会教育課での紙ベースでの予約や、スポーツ協会での手続きがインターネットからできるようになり、予約だけではなく使用料の電子決済も可能となる。

教 育 長：今までは予約の反映までタイムラグがあり、カレンダー上に空きがあるように見えても実際には予約が埋まっているということがしばしばあった。導入後はリアルタイムで空き状況が確認できるようになり、鍵の受け渡しについてもパスワード形式の電子錠に切り替える施設もあるようだ。導入にあたり、かなりの額がかかるがメリットが非常に大きい。

教 育 委 員：今後も今までの方法でも予約は可能か。

教 育 部 長：窓口で予約に来たら、窓口でシステムを利用して予約してもらう。

教 育 委 員：例えば、今まではサッカー少年団が晴天時にグラウンド、雨天時に体育館と両方予約していた。当日はどちらかがキャンセルとなり、空いている方をすぐ予約することができたがシステムからの予約だとそれができなくなるのか。

社会教育課長：当日のキャンセル可能時間を設けることも検討する。導入する中で問題が発生したらその都度解決策を考えていく。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第6号 令和6年度伊豆市議会6月定例会に提出する議案について

<学校教育課長より>

現在進めている新中学校整備工事については、過日、工事の変更契約を専決処分により1度行った。今回も工事の内容を変更する必要が生じたため、議会に上程するにあたり教育委員会に議案として上程する。

変更の内容としては、防球ネットの位置や構造の変更、根切工事で発生した転石をベンチやサインに活用すること、黒板を映写対応が可能なものへの変更、プロジェクターを黒板に投影しながら行える授業が可能とする設備への変更、市産材木を使った下駄箱等の設置など、当初の設計から現在まで工事を進める中で、使い勝手や性能の良い設備や仕様などが見つかри、よりよい施設環境とするため、現在の設計を変更するものである。

また、これらの変更をおこなうため、これまで 11 月 29 日完成予定としていたところを、1 か月弱工期を延長して 12 月 27 日完成予定に変更する。

教育部長：1 億 5,000 万円以上の工事契約は議会に上程する必要がある。なおかつ教育委員会が関わる工事だと議会に上程するための承認を教育員会でもらう必要がある。3,000 万円までは議会へ専決処分の報告で変更が可能だが、前回 1 度 2,600 万円ほどの変更をしたため、今回再び議会で承認してもらうこととなる。前回は工事を終えたものも含まれていたが、今回はこれから着手する全ての変更に對して承認が必要となる。具体的な部分で言うと、最近の子どもたちはカバンも大きいということでロッカーを大きいものにすることや、現場の教員の声も取り入れた、最新式で使い勝手の良いプロジェクター式の黒板を採用することになった。また、体育館が避難所となった時に、防災公園に発電機を置いて体育館に電力を供給するための線や、分電盤の設置費用を中学校の工事費用に組み込むことから、何千万単位の増額と工期の延長が必要となった。

教育委員：工期が延びるのは防災公園との兼ね合いの工事が増えるからか。

教育部長：今回の変更を含め、工事全体が増えるからである。

教育委員：防災公園との兼ね合いはうまくいきそうなのか。

教育部長：中学校と防災公園の境については、前回の変更で防災公園側にブロックを積み入れさせてもらっている。今後はそこに防球ネットを建てる工事が行われる。

教育長：ネットを防災公園に立てさせてもらうことにより、若干ではあるが、防災公園側のグラウンドの面積が確保できた。

教育委員：道路のアスファルト舗装は防災公園側で工事を行うのか。

教育部長：そのとおり。学校の工事で道路を壊して工事を進めているため、着手した側が補修する必要があるが、今回は防災公園と一体で進めているため碎石で整えるところまでとなった。

教育委員：発電機も大きいものを防災公園に設置するのか。

教育部長：そのとおり。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

5 報告・連絡事項

社会教育課 報告事項

<伊豆市社会教育委員及び伊豆市公民館運営審議会委員について>

社会教育課長より

・伊豆市社会教育委員と伊豆市公民館運営審議会委員の充て職委員について、決定したことを報告する。

社会教育課 連絡事項

- ・社会教育課長より、5月の行事予定について説明する。

学校教育課 報告事項

<令和6年度伊豆市結核対策委員名簿について>

- ・学校教育課長より、令和6年度伊豆市結核対策委員の校長会代表が決定したことを報告する。

6 意見交換会

- ・部活動の在り方について、意見交換を行った。

7 その他

- ・特になし

8 次回教育委員会

- ・次回 令和6年5月28日(火) 教育委員会 18:30～
- ・次々回 令和6年6月27日(木) 教育委員会 18:30～

9 閉会(鈴木教育長)